

矢吹町学校規模適正化に関するアンケート調査

【アンケート調査結果報告書】

町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に向けた検討を行うための参考とするため、町内の未就学児及び小学校児童の保護者に対しアンケート調査を実施しました

本調査の目的・概要

調査の 目的

町立幼稚園の園児数が減少傾向にあり、今後も減少が続くと見込まれているなかで、今後も町立幼稚園におけるより良い教育環境の整備を目指し、町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に向けた検討を行うための参考とするため、町内の未就学児及び小学校児童の保護者にご意見をお聞きするアンケート調査を実施しました

調査の概要

調査地域	矢吹町全域
調査対象	矢吹町内在住の0歳児から小学校3年生の児童の保護者 (対象児童数1,238名、対象世帯818世帯)
調査期間	令和4年11月9日(水)～11月20日(日)
回答方法	WEBアンケート(Microsoft forms)又は紙調査票による回答
回収状況	WEBアンケートによる回答414件、紙調査票による回答1件

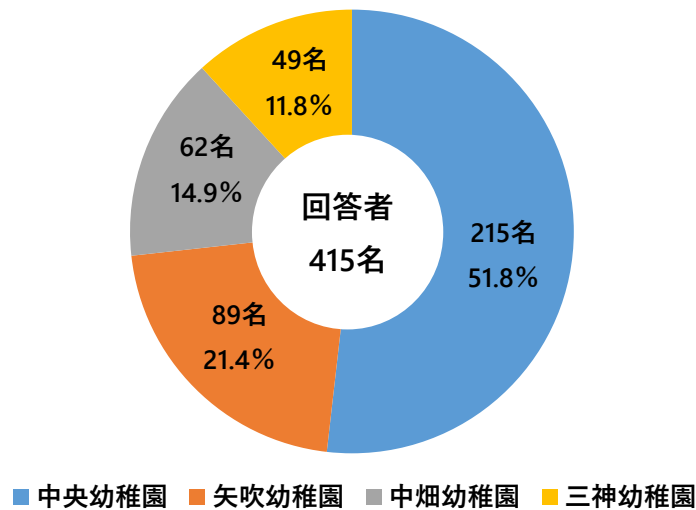
回答者の属性は下記のとおりです

住民アンケート結果(設問1、2)

設問 1

お住まいの地域はどの幼稚園の学区ですか
(1つ選択)

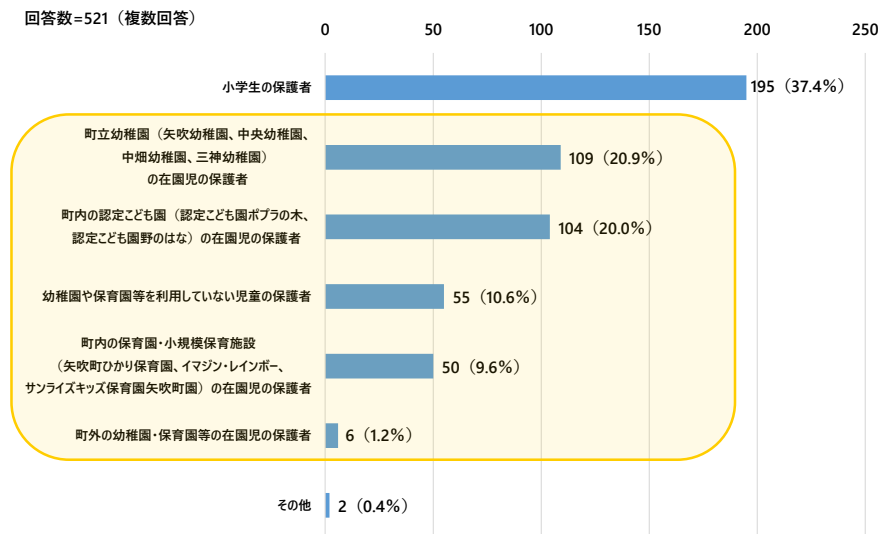
- アンケート回答者は415名であり、お住まいの幼稚園学区としては「中央幼稚園」(215名、51.8%) が最も多く、次いで多かったのは「矢吹幼稚園」(89名、21.4%) でした
- 全ての学区から一定程度回答をいただいております



設問 2

あなたのお立場について教えてください
(当てはまるものを選択)

- 未就学児の保護者としては計324件 (計62.2%) 回答をいただいております、そのなかでは「町立幼稚園の在園児の保護者」(109件、20.9%) が最も多く、次いで多かったのは「町内の認定こども園の在園児の保護者」(104件、20.0%) でした
- また、「小学校の保護者」からも多くの回答をいただきました (195件、37.4%)



幼稚園が小規模化するなかで不安な点としては、運動会や発表会などの行事が成り立たなくなること、教育や学びの幅が小さくなることが挙げられています

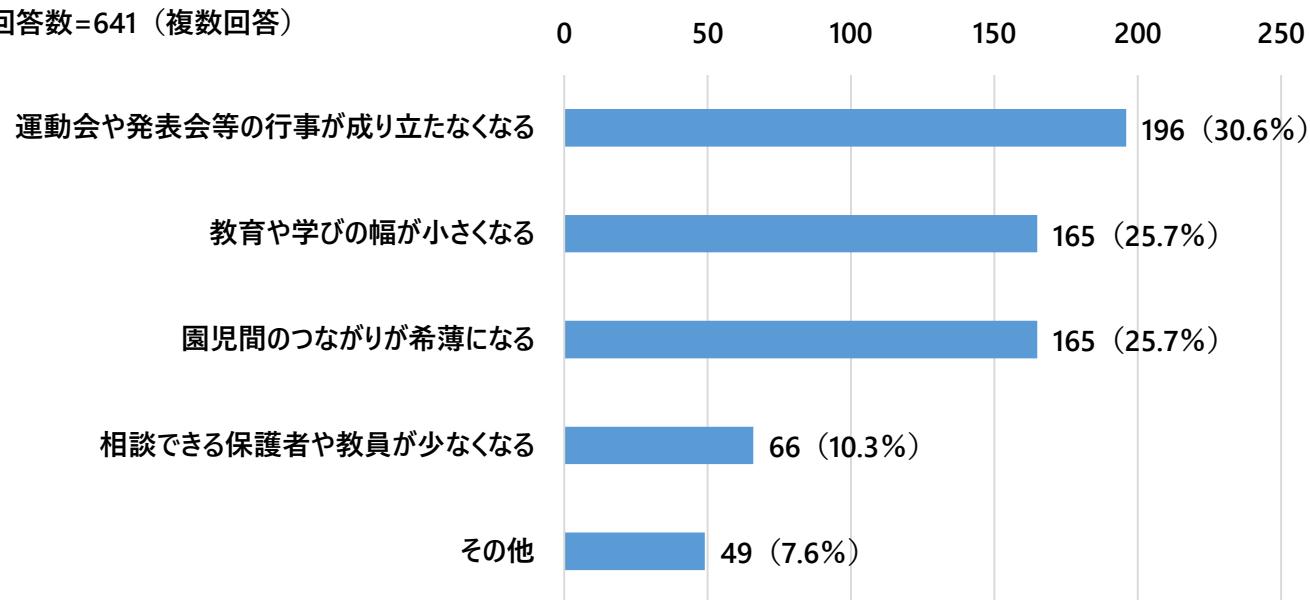
住民アンケート結果(設問3)

設問 3

園児数が減少し幼稚園が小規模化するなかで不安な点がありますか（当てはまるものを選択）

- 不安点として最も多かったのは「運動会や発表会等の行事が成り立たなくなる」（196件、30.6％）で、次いで多かったのは「教育や学びの幅が小さくなる」（165件、25.7％）および「園児間のつながりが希薄になる」（165件、25.7％）でした
- その他の意見としては、「一人一人への配慮が行き届くようになるため不安と思わない」「集団生活の経験が乏しくなる」「保護者同士のつながりが希薄になる」「小規模化する中での職員等の減少によりより充実した保育、教育が受けられなくなるのでは」といった意見がありました

回答数=641（複数回答）



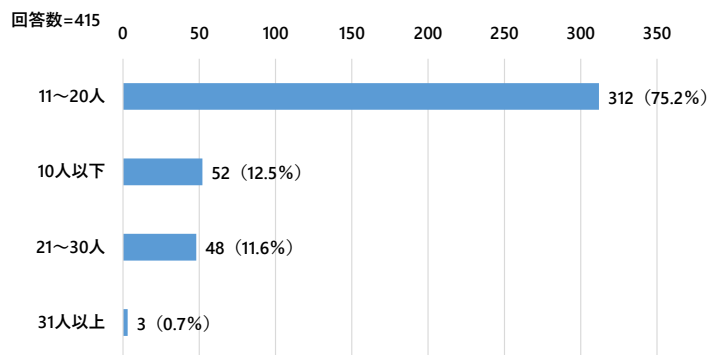
園児一人ひとりに目が行き届くという理由などから、1学級あたりの園児数は11～20人が望ましいとする意見が多くみられました

住民アンケート結果(設問4、5)

設問4

今後の幼児教育において望ましいと思う1学級あたりの園児数を回答ください(1つ選択)

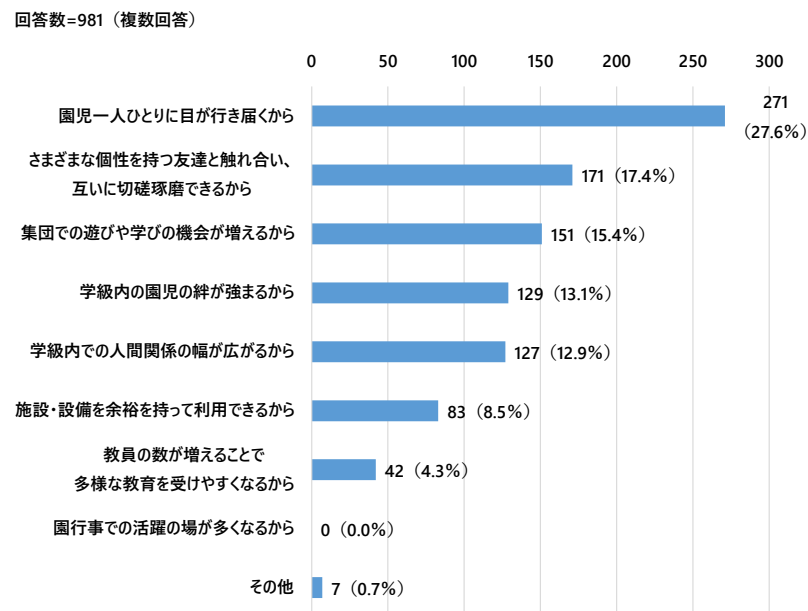
- 望ましいと思う1学級あたりの園児数は「11～20人」(312件、75.2%)が大多数を占める結果となりました



設問5

望ましいと思う1学級あたりの園児数についてそのように回答された理由として、あなたのお考えに近いものをお聞かせください(3つまで選択)

- 1学級あたりの園児数を選んだ理由としては、「園児一人ひとりに目が行き届くから」(271件、27.6%)が最も多くなりました
- 「その他」の意見としては、「教員の負担も考え、子供がのびのび生活できる適性人数だと思うから【11～20人を選択】」「療育に通う子でも受け入れてもらいやすくなるから(人数が多くて目が届かないからと断られた。ちなみに20名位で難しい様子)【10人以下を選択】」という意見が見られました



望ましい1学級あたりの園児数を「11～20人」と考える理由としては、「集団での遊びや学びの機会が増えるから」とする意見が多くみられました

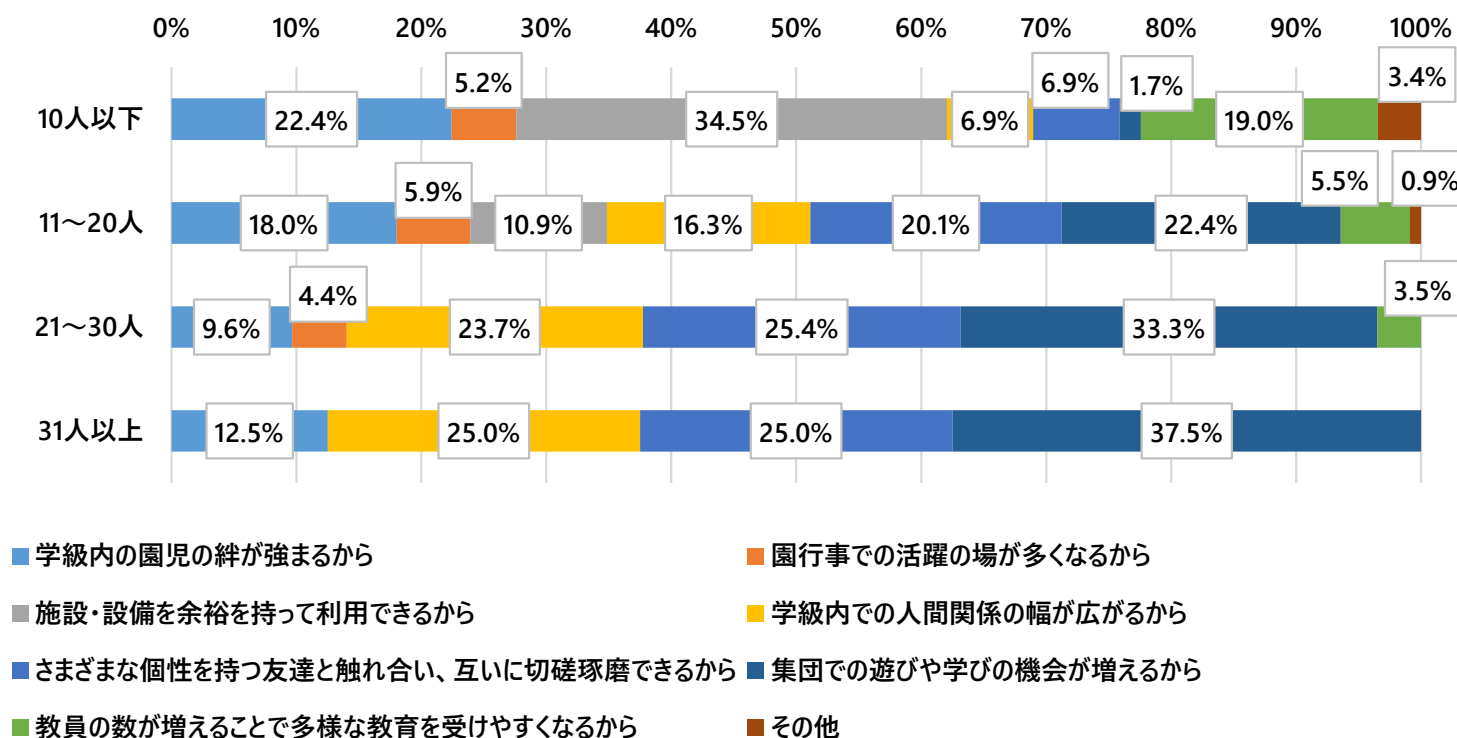
住民アンケート結果(設問4と設問5のクロス分析)

設問4と設問5のクロス分析

設問4：今後の幼児教育において望ましいと思う1学級あたりの園児数

設問5：望ましいと思う1学級あたりの園児数についてそのように回答された理由

- 1学級あたりの園児数として「10人以下」が望ましいと考える理由としては、「施設・設備を余裕を持って利用できるから」「学級内の園児の絆が強まるから」という意見が多くみられました
- 1学級あたりの園児数として「11～20人」「21～30人」「31人以上」が望ましいと考える理由としては、「集団での遊びや学びの機会が増えるから」という意見が多くみられました



住民アンケート結果（設問6、7）

町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に向けた今後の
取り組みの方向性についてあなたのご意見をお聞かせください
(当てはまるものを選択)

- 今後の取り組みの方向性として「より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない」（200件、38.4%）が最も多くなりました
- 「その他」の内容としては、「保育園の児は多くて先生が足りない状況。子供に対して施設が多いのか少ないのか分からない」などの意見が見受けられました

Figure 1: What kind of environment do you want for children's growth? (Percentage of responses)

Response Category	Count	Percentage
より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない	200	38.4%
園児の増減に関係なく、可能な限り現在の幼稚園の配置を変えないことが望ましい	120	23.0%
幼稚園を認定こども園化することが望ましい	83	15.9%
より良い教育環境の整備を目指し、積極的に幼稚園の統合を検討することが望ましい	82	15.7%
園児の増減に関係なく、現在の幼稚園の配置を変えるべきではない	29	5.6%
その他	7	1.3%
計	521	100.0%

町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に関してご意見・ご提案等ございましたらご自由に記入ください（自由記述）

7

どの学区においても基本的に幼稚園の統合もやむを得ないと考える方の割合が多いですが、三神幼稚園区では配置を変えてほしくないと考えている方の割合が高くなっています

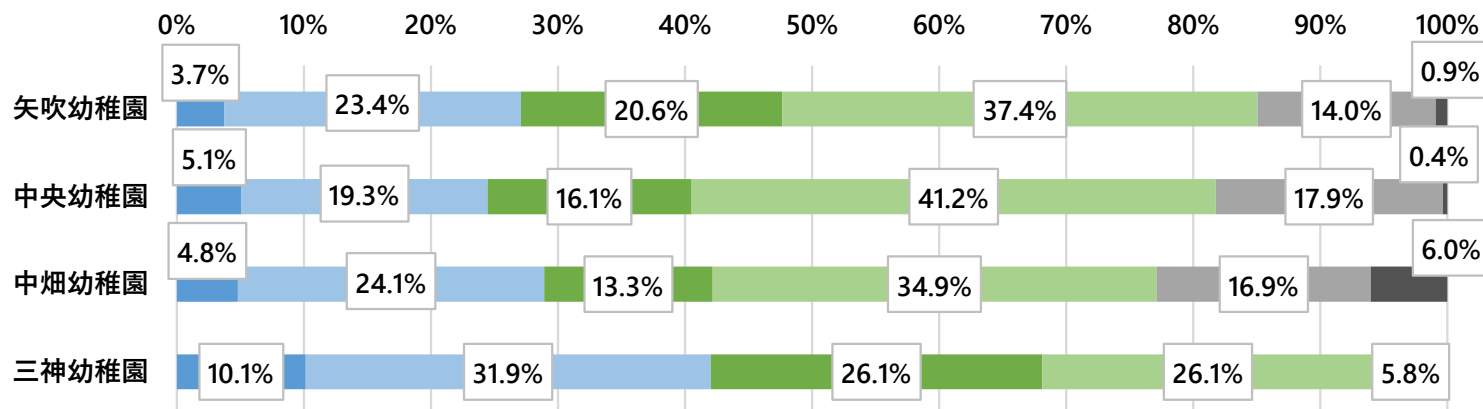
住民アンケート結果(設問1と設問6のクロス分析)

設問1と設問6のクロス分析

設問1：お住まいの地域（幼稚園の学区）

設問6：町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に向けた今後の取組みの方向性についてのお考え

- どの学区においても基本的に「より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない」と考える方の割合が高くなっています
- 三神幼稚園区では、「園児の増減に関係なく、可能な限り現在の幼稚園の配置を変えないことが望ましい」と考えている方の割合が最も高くなっています



- 園児の増減に関係なく、現在の幼稚園の配置を変えるべきではない
- 園児の増減に関係なく、可能な限り現在の幼稚園の配置を変えないことが望ましい
- より良い教育環境の整備を目指し、積極的に幼稚園の統合を検討することが望ましい
- より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない
- 幼稚園を認定こども園化することが望ましい
- その他

望ましい1学級あたりの園児数を「11～20人」と考える方は、「より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない」とする意見が多くみられました

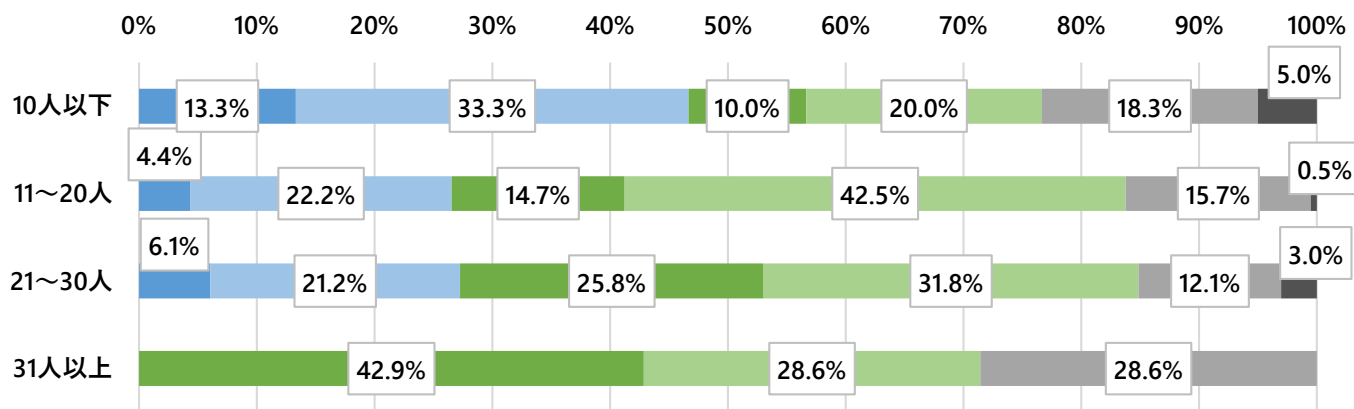
住民アンケート結果(設問4と設問6のクロス分析)

設問4と設問6のクロス分析

設問4：今後の幼児教育において望ましいと思う1学級あたりの園児数

設問6：町立幼稚園の適正な規模及び適正な配置に向けた今後の取組みの方向性についてのお考え

- 1学級あたりの園児数として「11～20人」が望ましいと考える方は、「より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない」と考える割合が高くなっています
- 1学級あたりの園児数が少ないほうが望ましいと考える方ほど、「園児の増減に関係なく、幼稚園の配置を変えないことが望ましい」と考える割合が高くなり、「より良い教育環境の整備を目指し、積極的に幼稚園の統廃合を検討することが望ましい」と考える割合が低くなる傾向にあります



- 園児の増減に関係なく、現在の幼稚園の配置を変えるべきではない
- 園児の増減に関係なく、可能な限り現在の幼稚園の配置を変えないことが望ましい
- より良い教育環境の整備を目指し、積極的に幼稚園の統合を検討することが望ましい
- より良い教育環境の整備のためには、幼稚園の統合もやむを得ない
- 幼稚園を認定こども園化することが望ましい
- その他

経済的支援以外では、未来くるやぶきのイベントの満足度が高く、しらかわ病児保育室や障がい児保育事業の更なる充実が求められています

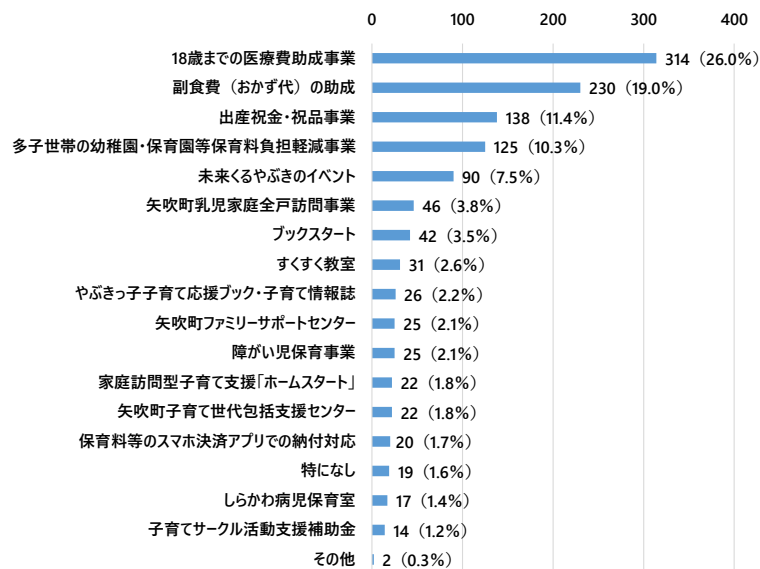
住民アンケート結果概要（設問8、9）

設問 8

町で実施している子育て支援施策のうち、満足度の高い施策を回答ください（当てはまるものを選択）

- 満足度の高い施策としては「18歳までの医療費助成事業」（314件、26.0%）などの経済的支援が上位となっています
- 経済的支援以外では、「未来くるやぶきのイベント」（90件、7.5%）、「矢吹町乳児家庭全戸訪問事業」（46件、3.8%）などが挙げられています

回答数=1208（複数回答）

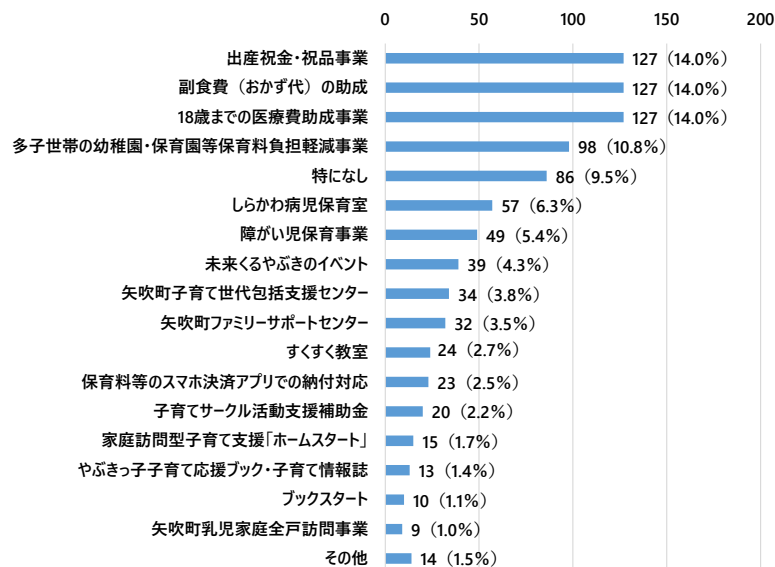


設問 9

町で実施している子育て支援施策のうち、より充実させてほしい施策を回答ください（当てはまるものを選択）

- より充実させてほしい施策としては「出産祝金・祝品事業」（127件、14.0%）などの経済的支援が上位となっています
- 経済的支援以外では、「しらかわ病児保育室」（57件、6.3%）、「障がい児保育事業」（49件、5.4%）などが挙げられています
- 「その他」の内容としては、「ひとり親への支援」「保育料減額」「第一子出産への大胆な金銭給付」などが見受けられました

回答数=904（複数回答）



補助金・助成金の拡充のほか、一時預かりができる場所の整備や子どもの遊び場の整備の拡充を望む意見が多く見受けられました

住民アンケート結果(設問10)

設問 1 0

今後、実施してほしい子育て支援策がありましたらご記入ください（自由記述）

分類	主なご意見	
ソフト	補助金・助成金による支援 - 給食費の全額無償化 - 予防接種2回目以降の補助 - 児童手当の18歳までの延長 - 子育て世代への給付金 - 多子世帯への助成金	- 出産祝金が使える店舗を増やしてほしい（現状ドラッグストアでは使えない） 0から2歳児の保育料金の補助 - 所得制限なしのおむつ券支給 - 小学校入学にかかる金額の負担
	一時預かりの拡充 - 保育園以外の乳児幼児の一時預かりができる場所 - 小学生の児童クラブの一時利用（親の通院などやむを得ない事情の場合）もしくはそれに代わってコソットにての一時預かりなど - 放課後児童クラブの早朝預かり	- 一時保育可能な施設を増やし、一時保育の料金を減額してほしい - 土日祝日等働いている親を持つ子を預かる制度を考えて欲しい
	親同士の交流の場の創出 - 赤ちゃんとそのママが交流できる場所がもう少し増える - 子育てサークルの充実	子育て世代のママたちが子供を連れて行ける親子カフェがほしい
ハード	子どもの遊び場の整備 - 遊具が充実した公園があれば嬉しい - 公園の充実(遊具や芝生の広場)	- 室外遊具の拡充 - 公園が無い場合私道や普通の道路で遊んでしまっています
その他	- 保育士、教師の労働環境・賃金の改善 - 学校の行事などへのシルバー人材の活用 - メールやLINEでの町からの積極的な情報発信 - 商品券の抽選は応募に間に合わないためやめてほしい - 県立矢吹病院との連携（学校や幼稚園の中でスキルトレーニングが週単位で行える環境の提供）	- 個人医院の誘致。特に小児科、皮膚科、耳鼻科 4ヶ月検診から1歳児健康相談の間の検診をやって欲しい - 発達障害児（特に支援が未熟なグレーゾーン）に対するSSTの場の提供 - 小さい子へのみの支援が多い。中学校や高校に行ってからの方が多様にお金がかかるのでそっちももう少し考えてほしい